

# 安全データシート

SDS No.1001-0256

作成日 2020年11月 9日  
改訂日 年 月 日 1/5頁

## 1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Bentone 34+DIDP(5+5)% Uniport B  
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社  
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F  
電話番号 : 03-5323-6611  
FAX番号 : 03-5323-6622  
製品コード : 1001-45041、1001-55504、1001-、1003-  
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)  
整理番号(SDS No.) : 1001-0256  
推奨用途及び使用上の制限 : 試験・研究用

## 2 危険・有害性の要約

Bentone 34+DIDP(5+5)% Uniport BはGC分析用充填剤です。本製品がカラムに充填された場合、外部に漏れ出すことはありませんが、情報提供の観点から、以下に充填剤の情報を記載します。  
充填剤自体の情報も以下の通りです。

GHS分類 : 生殖毒性 : 区分2  
ラベル要素 :



注意喚起語 : 警告  
危険有害性情報 :  
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
注意書き :  
[安全対策] :  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
[応急措置] :  
P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の手当てを受けること。  
[保管] :  
P405 施錠して保管すること。  
[廃棄] :  
P501 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

上記で記載がない危険有害性は区分外、分類できないまたは区分に該当しない。

## 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物  
化学名(又は一般名) : Bentone 34+DIDP(5+5)% Uniport B

成分名	濃度	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法	安衛法	
Bentone® 34	5.00%	—	—	—	68953-58-2
DIDP (フタル酸ジイソデシル)	5.00%	C <sub>28</sub> H <sub>46</sub> O <sub>4</sub>	3-1307		26761-40-0
Uniport B(珪藻土)	90%	SiO <sub>2</sub> (主成分として)	設定されていない		68855-54-9

## 4 応急処置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受けること。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受けること。
- 目に入った場合 : 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、直ちに医師の手当てを受けること。無理に吐かせないこと。
- 暴露した場合 : 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
- 急性症状および遅発性症状の  
最も重要な徴候症状 : データなし
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は適切な保護具を着用すること。

## 5 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 火災時の特有危険有害性 : 火災によって刺激性、もしくは有毒なヒューム(またはガス)を発生するおそれがある。消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
- 特定の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。  
消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動の際は、適切な空気呼吸器と化学用保護衣を着用する。

## 6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。  
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。  
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚や眼に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 封じ込めおよび浄化の方法および機材 : 適切な保護具をつけて処理すること。漏洩物を掃き集めて密閉できる容器に回収する。

## 7 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 取扱い

- 技術的対策 : 眼、皮膚への接触を避ける。取扱後は手や顔をよく洗うこと。
- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵を発生させない。  
使用後は容器を密閉する。  
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。  
取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 衛生対策 : 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。  
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。  
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。

## 保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して施錠保管する。
- 技術的対策 : 特になし
- 混触危険物質 : 酸性物質、酸化剤
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン等(密閉できるもの)

## 8 暴露防止及び保護措置

## 設備対策

- : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。

## 管理濃度

- : 設定されていない

許容濃度 :

化学名(又は一般名)	日本産業衛生学会	ACGIH TLV	OSHA PEL
Bentone® 34	吸入性粉塵 2mg/m <sup>3</sup> 、 総粉塵 8mg/m <sup>3</sup> (第3種粉塵)	3mg/m <sup>3</sup> (吸引性粒子)	—
DIDP(フタル酸ジイソデシル)	設定されていない		
珪藻土	総粉塵:2mg/m <sup>3</sup> 、 吸入性粉塵:0.5mg/m <sup>3</sup> (第1種粉塵)	設定されていない	80mg/m <sup>3</sup> /%SiO <sub>2</sub>

## 保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク  
 手の保護具 : 保護手袋  
 目の保護具 : 保護眼鏡または保護ゴーグル  
 皮膚及び身体の保護具 : 作業着  
 適切な衛生対策 : マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。  
 取り扱い後はよく手を洗う。

## 9 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体(粒状)  
 色 : 白色  
 臭い : 無臭  
 融点/凝固点 : データなし  
 沸点または初留点 : データなし  
 可燃性 : データなし  
 爆発下限界及び爆発上限界 : データなし  
 引火点 : データなし  
 自然発火点 : データなし  
 分解温度 : データなし  
 pH : データなし  
 動粘性率 : データなし  
 溶解度 : 水に不溶  
 n-オクタノール/水分配係数  
 log Po/w : データなし  
 蒸気圧 : データなし  
 密度及び/または相対密度 : データなし  
 相対ガス密度(空気=1) : データなし  
 粒子特性 : データなし

## 10 安定性及び反応性

反応性 : 空気中の水分、炭酸ガスを吸収しやすい  
 化学的安定性 : 通常の条件下で安定。  
 危険有害反応可能性 : データなし  
 避けるべき条件 : 湿気、日光、熱、炭酸ガス  
 混触危険物質 : 酸化剤、酸性物質  
 危険有害な分解成分 : 一酸化炭素、二酸化炭素  
 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素、有害なヒューム。

## 11 有害性情報

Bentone® 34及び珪藻土について、危険有害性情報がないため、DIDPの区分を元に混合物として分類した。以下にはDIDPの区分に基づく混合物の情報を記載する。

急性毒性(経口) : 区分に該当しない  
 (DIDP) : >6,000mg/kg  
 急性毒性(経皮) : 区分に該当しない  
 (DIDP) : >2,910mg/kg  
 急性毒性(吸入: 蒸気) : 区分に該当しない  
 (DIDP) : >12.54mg/L  
 急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) : データなし  
 皮膚腐食性/皮膚刺激性 : DIDPが区分に該当しないため、混合物として区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: DIDPが区分に該当しないため、混合物として区分に該当しない。
呼吸器感受性	: データなし
皮膚感受性 (DIDP)	: 混合物として分類できない。 : ヒトでは、104人のボランティア、310人の皮膚疾患の患者、及び144人のプラスチック・ワニスアレルギー患者を対象としてパッチテストにおいて、いずれも陽性反応が認められなかった(DFGOT(2015),EU-RAR(2003),PATTY(6th,2012))。
生殖細胞変異原性 発がん性	: 混合物として分類できない。
生殖毒性 (DIDP)	: DIDPで区分2に該当しその濃度が3%以上であるため混合物として区分2となった。 : ラットを用いた経口経路(混餌投与)による2つの2世代生殖毒性試験において、F0、F1親動物に一般毒性影響(体重増加抑制、肝臓・腎臓重量増加など)がみられる用量でも生殖能への影響は示されなかった。しかし、F1、F2児動物に生後4日まで(高用量では離乳時まで)の死亡率の増加、1試験では加えてF2に包皮分離の遅延が認められている。一方、妊娠ラットの器官形成期に強制経口投与した結果、母動物毒性発現量以下の用量で胎児に軽微な影響(過剰肋骨などの骨格変異)がみられただけであった(NICNAS(2015),PATTY(6th,2012))。
特定標的臓器毒性 誤えん有害性	: 混合物として分類できない。 : データなし
<b>1 2 環境影響情報</b>	
水生環境有害性	: 区分に該当しない。
生態影響	: (DIDP) 藻類(セネデスムス) EC50 $\geq$ 500mg/L,72h、甲殻類(オオミジンコ) EC50 $\geq$ 0.18mg/L,48h、魚類(ブルーギル) LC50 $\geq$ 0.55mg/L,96h(EU-RAR,2003)
残留性/分解性	: DIDPは難分解性である(BOD=2%)(既存点検,1975)
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品中の化学物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
<b>1 3 廃棄上の注意</b>	
残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
<b>1 4 輸送上の注意</b>	
国際規制	
海上規制情報	: IMOの規定に従う。
UN No.	: 規定されていない
海洋汚染物質	: 非該当
航空規制情報	: ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.	: 規定されていない
国内規制	
陸上規制	: 国内法令の規定に従う。
海上規制	: 船舶安全法に従う。
国連番号	: 規定されていない
海洋汚染物質	: 非該当
航空規制情報	: 航空法の規制に従う。
UN No.	: 規定されていない
<b>1 5 適用法令</b>	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化管法	: 非該当
化審法	: 既存物質
消防法	: 非該当
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当
土壤汚染対策法	: 非該当

1 6 その他の情報

引用文献等

ezSDS、ezCRIC 日本ケミカルデータベース株式会社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

16918の化学商品、化学工業日報社(2018)

航空危険物規則書 第52版邦訳 等・他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。